

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/08/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.11	0.06
JPY/THB	0.2633	-0.0003
USD/JPY	137.12	0.35
EUR/THB	35.98	0.04
EUR/USD	0.9967	-0.0003
USD/CNH	6.877	0.023
SGD/THB	25.90	0.00
AUD/THB	24.95	-0.03
USD/INR	79.82	-0.05
USD Index	108.68	0.05

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.025	-0.038
10Y (THB)	2.548	-0.052
5Y (USD)	3.233	0.068
10Y (USD)	3.104	0.058

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,747.8	1
WTI (Oil)	94.89	1.15
Copper	8,034.5	-85.5

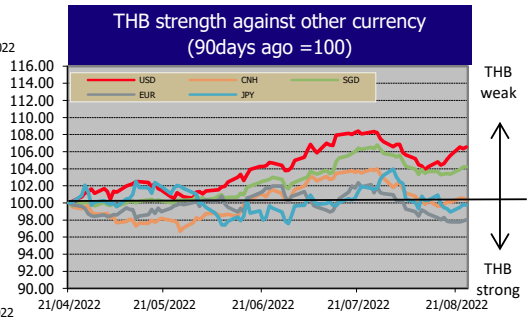
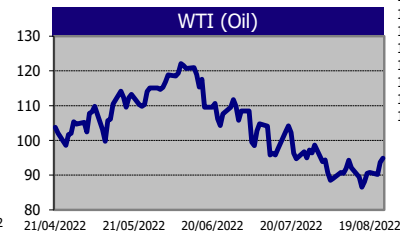
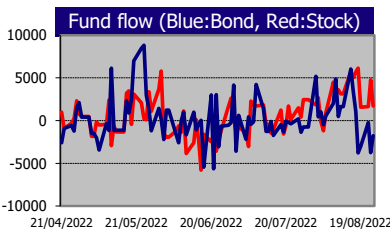
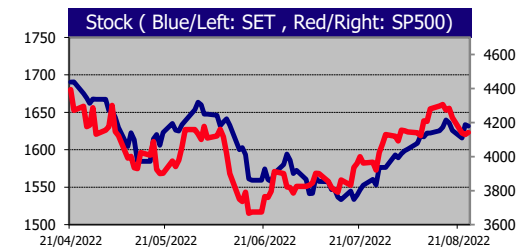
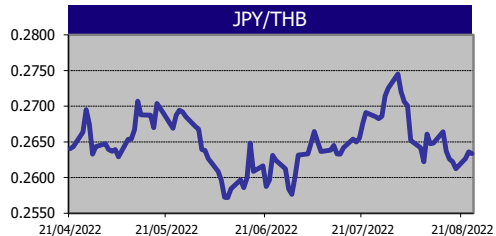
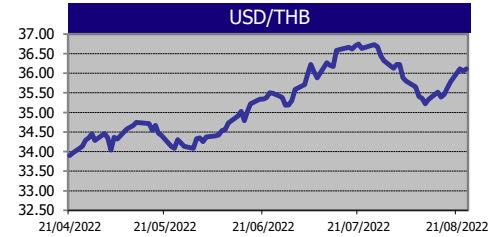
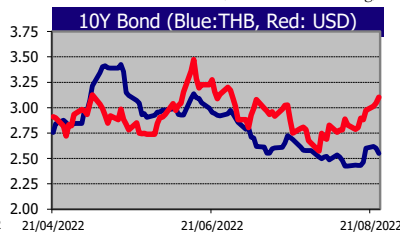
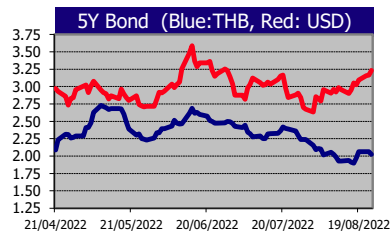
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,631.55	-2.02
NIKKEI (JP)	28,313.47	-139.28
DOW (US)	32,969.23	59.64
S&P500 (US)	4,140.77	12.04
SHCOMP (CN)	3,215.20	-61.02
DAX(GER)	13,220.06	25.83

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,709	-3081.6
Bond net flow	(1,787)	1973.5

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドル/パーツはタイ国内のニュースに振られる展開。36パーツ丁度付近でスタートしたドル/パーツは、序盤、タイ中銀のセタプット総裁がビジネスフォーラムにて「積極的な利上げは必要ない」旨の発言をしたことを受け上昇。午後に入り、タイ憲法裁判所がプラユット首相の職務停止を命じたともドル/パーツの上昇を勢い付けたものの、前日(23日)高値の36.33付近を目指すには至らず。その後は徐々に勢いを失い、結局36.11レベルでクローズとなった。

●ドル円その他

・昨日のドル/円は小幅に上昇した。136円台後半でスタートしたドル/円は序盤、Fed高官のタカ派発言を受け、一時137円を上抜けるも、その後136円台半ばまで下落する不安定な展開に。海外時間に入ると、再度ドル売りが強まり、136円台前半を付ける場面が見られるも、終盤にかけては米長期金利がおおよそ2カ月ぶりに3.10%台に乗せる展開に値を戻し、137円台を回復。137.12レベルでクローズとなった。

Bangkok Dealer's Eye

今月のドル/パーツ相場の推移を見ると、序盤はパーツ高が進行し下落基調であったものの、タイ中銀(BOT)が利上げを行った翌日(11日)に直近安値をつけて以降、上昇(パーツ安)に転じている。11日を基準とし、昨日(24日)までのアジア通貨のドルに対する騰落率を見ると、下落率の高い順に日本円、韓国ウォン、次いでタイパーツとなっており、アジア通貨の中でも下落率の高さが目立つ。11日以降でパーツ相場の変動要因として見られたものを挙げてみると、予想を下回ったタイ経済指標(第2Q実質GDP)・タイ中銀のハト派スタンス示唆・米国金融政策に対する思惑(相次ぐFed高官のタカ派発言)・中国景気減速懸念(予想外の利下げ、低調な経済指標)といったところだろうか。いずれも短期的にはパーツ相場に逆風環境ではあるが、まずは目前に迫ったジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演内容に注目したい。(末廣)